

JIS

熱に対する防護服及び装備品－ 熱風循環炉を使用する対流耐熱性試験方法

JIS T 8023 : 2020

(JSAA/JSA)

令和 2 年 1 月 25 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 保安技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	山内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
(委員)	緒方 隆 昌	一般社団法人日本非破壊検査協会
	木村 俊 夫	公益社団法人日本アイソトープ協会
	釘宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	小松 克 行	公益社団法人日本保安用品協会
	利岡 和 範	日本安全靴工業会
	根岸 公一郎	株式会社千代田テクノ
	野原 由樹子	一般社団法人日本防護服協議会
	堀田 光 乃	建設業労働災害防止協会
	山田 崇 裕	近畿大学

主 務 大 臣：厚生労働大臣， 経済産業大臣 制定：平成 18.4.25 改正：令和 2.1.25

官 報 掲 載 日：令和 2.1.27

原 案 作 成 者：公益社団法人日本保安用品協会

(〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-15 和光湯島ビル TEL 03-5804-3125)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：保安技術専門委員会 (委員長 山内 正剛)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本産業規格は，産業標準化法の規定によって，少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	3
5 装置	3
5.1 熱風循環炉	3
5.2 テンプレート	3
5.3 定規	3
5.4 ニット材料用の固定枠	3
5.5 試験片装着用ジグ	4
5.6 ガラスビーズ	4
5.7 人頭模型	4
6 試験片	4
6.1 防護服の試験片調整	4
6.2 手袋, 靴, ヘルメット, 目又は顔面の保護具などの試験片の準備及び調整	4
7 熱風循環炉の校正	5
7.1 温度及び空気流速の均一性	5
7.2 日常管理	5
8 手順	5
8.1 平たんな布地又はその他のシート状の材料に対する手順	5
8.2 防護手袋に対する手順	5
8.3 安全靴に対する手順	6
8.4 ヘルメット, 又は目及び顔面の保護具に対する手順	6
8.5 防護服上の小物及びアクセサリーに対する手順	7
9 試験報告書	7
附属書 A (規定) 熱風循環炉の温度均一性及び時定数	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
解 説	13

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本保安用品協会（JSAA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣及び経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS T 8023:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣、経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

注記 工業標準化法に基づき行われた申出、日本工業標準調査会の審議等の手続は、不正競争防止法等の一部を改正する法律附則第 9 条により、産業標準化法第 12 条第 1 項の申出、日本産業標準調査会の審議等の手続を経たものとみなされる。

熱に対する防護服及び装備品— 熱風循環炉を使用する対流耐熱性試験方法

Protective clothing and equipment against heat— Test method for convective heat resistance using a hot air circulating oven

序文

この規格は、2016年に第2版として発行された **ISO 17493** を基とし、使用上の利便性を考慮するため技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、熱風循環炉内で熱風にばく露したときの防護服材料及び／又は装備品の耐熱性を評価する試験方法について規定する。この方法は、既定のばく露温度における材料の物理的变化を評価するもので、収縮の測定を含む外観上の変化を評価する。試験対象の防護服材料又は装備品の用途によって異なる手順を適用する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 17493:2016, Clothing and equipment for protection against heat—Test method for convective heat resistance using a hot air circulating oven (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS L 0105 繊維製品の物理試験方法通則

JIS L 1909 繊維製品の寸法変化測定方法

注記 対応国際規格：**ISO 3759**, Textiles—Preparation, marking and measuring of fabric specimens and garments in tests for determination of dimensional change

JIS T 8131 産業用ヘルメット

ISO 3873, Industrial safety helmets

ISO 4643:1992, Moulded plastics footwear—Lined or unlined poly (vinyl chloride) boots for general industrial use—Specification